

# 2018年3月期 決算説明会

---

## 決算総括および長期経営目標

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

**シスメックス株式会社**

代表取締役会長兼社長 CEO 家次 恒

2018年5月10日

## 本日の内容

---

Chapter 1      2018年3月期 決算総括

Chapter 2      2019年3月期 業績予想

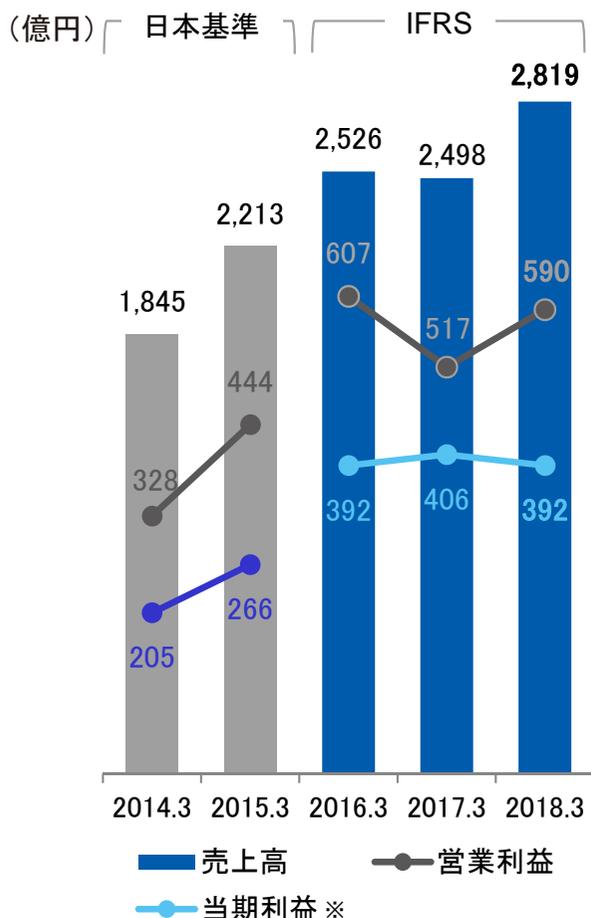
Chapter 3      長期経営目標(2025年)

## Chapter 1

---

# 2018年3月期 決算総括

# 決算総括



※日本基準では親会社株主に帰属する当期純利益  
IFRSでは親会社の所有者に帰属する当期利益を記載

	2018年3月期	前年同期
1USD	110.9円	108.4円
1EUR	129.7円	118.8円
1CNY	16.8円	16.1円

	2018年3月期		前年同期		(億円) 前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	2,819.3	100%	2,498.9	100%	112.8%
売上原価	1,229.8	43.6%	1,081.2	43.3%	113.7%
販売費及び一般管理費	825.4	29.3%	754.0	30.2%	109.5%
研究開発費	167.5	5.9%	155.5	6.2%	107.7%
その他の営業損益	△5.7	△0.2%	8.8	0.4%	-
営業利益	590.7	21.0%	517.0	20.7%	114.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	392.2	13.9%	406.3	16.3%	96.5%

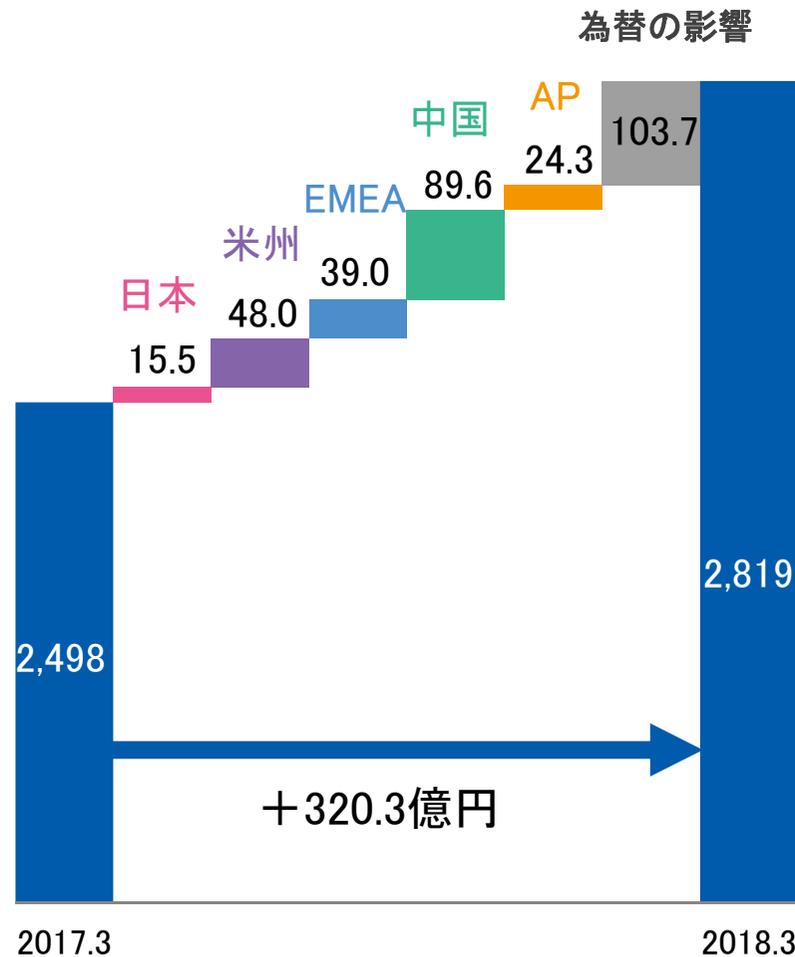
- **売上高** 全所在地において現地通貨、円ベースともに増収
- **営業利益** 増収による粗利益増加や、対前年同期比で円安に推移した影響等により増益
  - **為替の影響** 売上高 +103.7億円    営業利益 +24.5億円
  - **前年同期為替レート適用の場合** 売上高 108.7%    営業利益 109.5%
- **当期利益** 前年度2Qの日独租税協定改正の影響等により減益
- **為替差損益** △12.7億円(前年同期: △22.1億円)
- **設備投資(有形)** 158.6億円    減価償却費 146.4億円

# 売上高・営業利益の増減要因

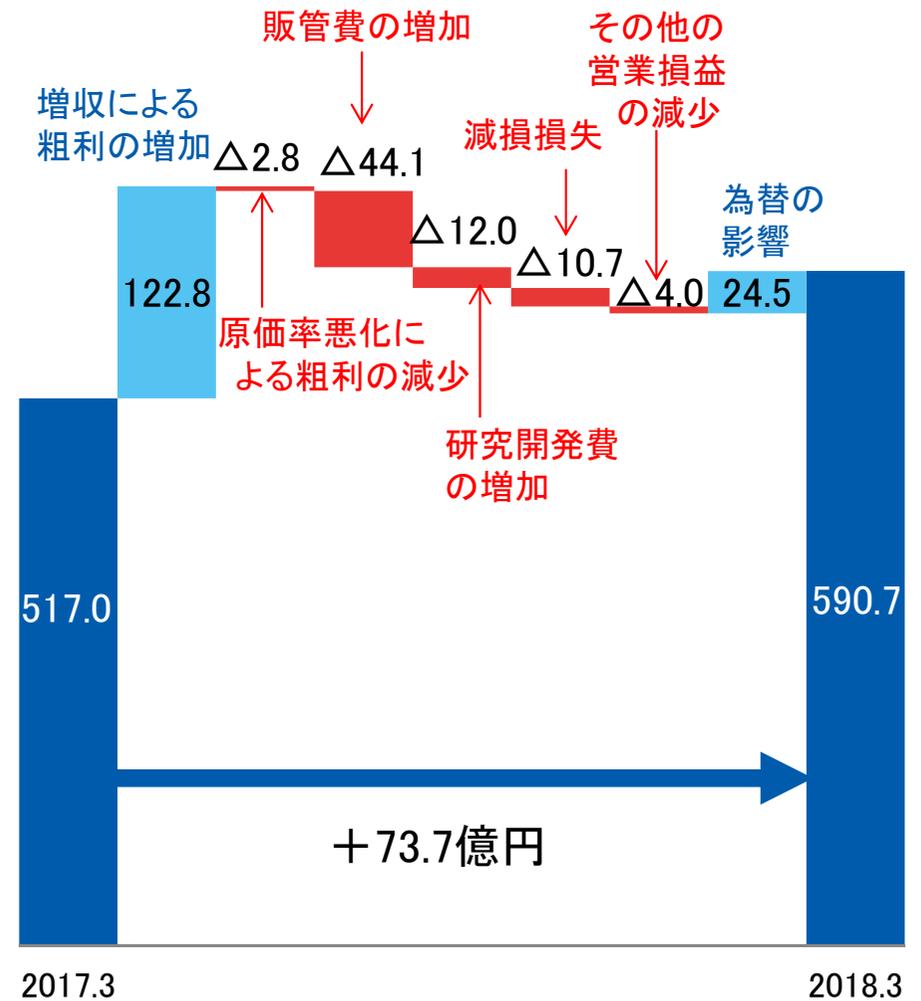
(億円)

## 売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



## 営業利益



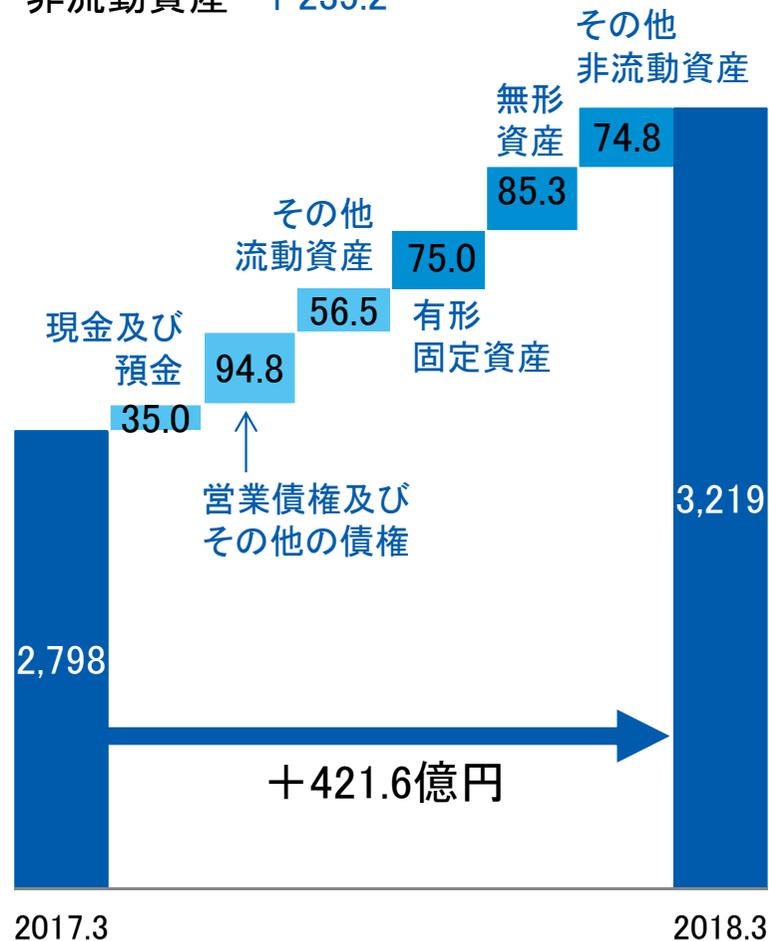
# 連結財政状態計算書の増減要因

(億円)

## 資産の部

流動資産 +186.3

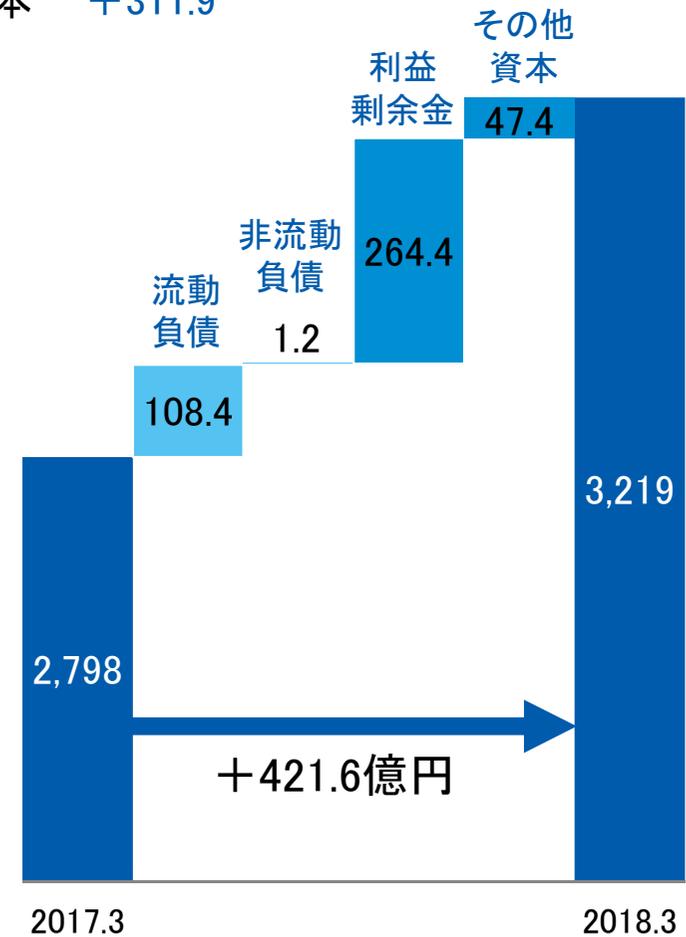
非流動資産 +235.2



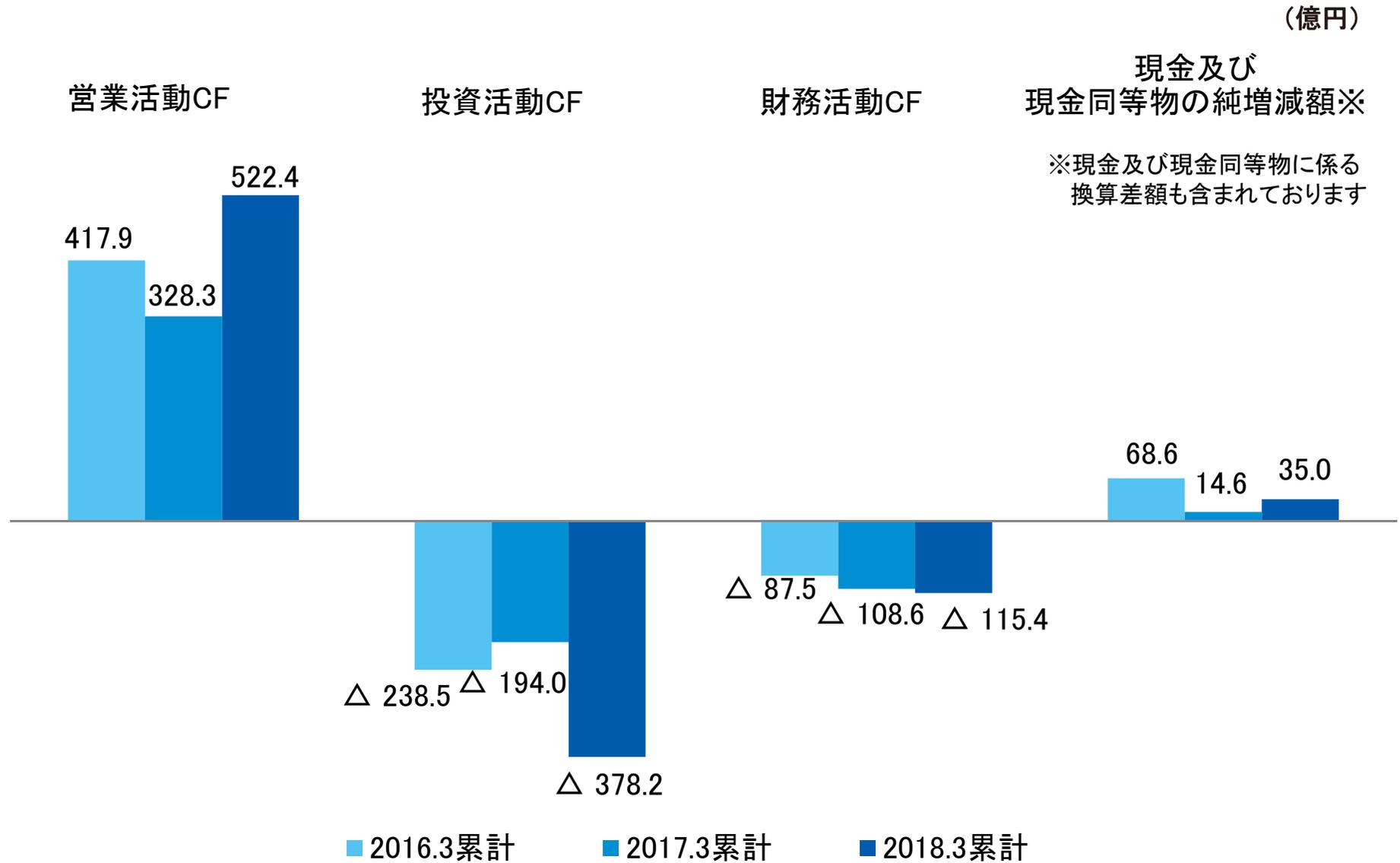
## 負債・資本の部

負債 +109.7

資本 +311.9



# キャッシュフローの推移



# トピックス

## 経営・事業

\*月は当社リリース月に基づく

- 個別化医療に向けた新たなビジネス領域拡大のため英国企業OGT社を買収（'17年5月）
- シスメックス・ビオメリュー株式会社の合併解消に合意（'17年7月）
- アメリカの試薬生産工場拡張完了（'17年7月）
- ガーナにおいて直接販売・サービスを開始（'17年9月）
- バイオ診断薬センター建設着工（'18年5月）



バイオ診断薬センター  
外観イメージ図

## 製品・技術

- ヘマトロジー分野のフラッグシップ製品XNシリーズ ラインアップ拡充（'17年6月）
- ヘマトロジー分野の新製品が全自動の血球計数装置として初のCLIA Waiver認証を取得（'17年11月）
- 研究用 高感度免疫測定装置 HI-1000を発売（'18年3月）
- 個別化医療に向けたマルチプレックス遺伝子パネル検査の先進医療承認（'18年4月）
- 新たなネットワークソリューション「Caresphere™」の提供を開始（'18年4月）

## その他

- 障がい者雇用を促進するための新会社「シスメックスハーモニー」を設立（'17年4月）
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に2年連続選定（'17年9月）
- フィギュアスケート・三原舞依選手、坂本花織選手との所属契約を締結（'17年10月）



# 所在地別売上高

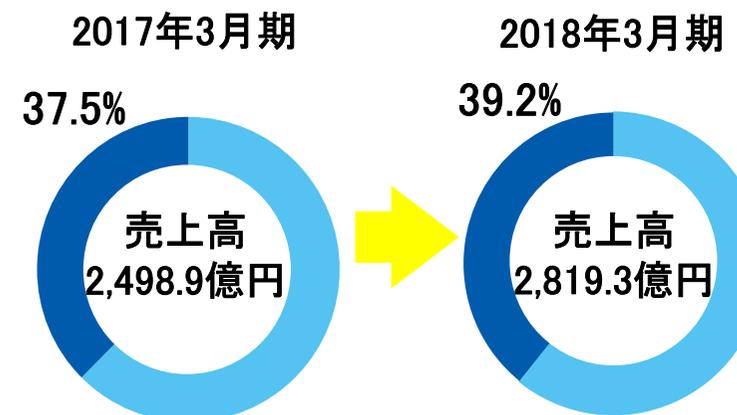
(億円)

所在地別売上高 (外部売上)							
	2018年3月期		前年同期		前年同期比		
	実績	構成比	実績	構成比	円	現地通貨	
売上高	2,819.3	100%	2,498.9	100%	112.8%	-	
所在地別	米州	625.5	22.2%	565.8	22.6%	110.5%	108.1%
	EMEA	755.4	26.8%	649.2	26.0%	116.4%	106.6%
	中国	720.1	25.5%	603.1	24.1%	119.4%	114.8%
	AP	244.0	8.7%	211.7	8.5%	115.3%	(111.4%)
	日本※	474.1	16.8%	469.0	18.8%	101.1%	-

※IDEXX社等含む外部売上

為替レート		
	2018年3月期	前年同期
1USD	110.9円	108.4円
1EUR	129.7円	118.8円
1CNY	16.8円	16.1円

## ● 新興国の売上高比率



# 事業別売上高

	2018年3月期		前年同期		前年同期比	参考： 前年同期比 (前期レート)
	実績	構成比	実績	構成比		
ヘマトロジー	1,748.4	62.0%	1,594.6	63.8%	109.6%	105.5%
尿	206.2	7.3%	161.0	6.4%	128.0%	123.2%
HU事業	1,954.6	69.3%	1,755.6	70.3%	111.3%	107.1%
免疫	111.9	4.0%	80.3	3.2%	139.2%	136.1%
生化学	32.6	1.2%	33.8	1.4%	96.5%	94.0%
凝固	450.0	16.0%	409.1	16.4%	110.0%	105.8%
ICH事業	594.6	21.1%	523.4	20.9%	113.6%	109.7%
コア事業	2,549.2	90.4%	2,279.1	91.2%	111.9%	107.7%
FCM事業	16.1	0.6%	17.7	0.7%	90.6%	85.3%
LS事業	89.5	3.2%	46.1	1.8%	194.2%	186.0%
その他	0.1	0.0%	—	—	—	—
ネクストコア事業	105.8	3.8%	63.8	2.6%	165.6%	158.2%
その他※	164.2	5.8%	155.9	6.2%	105.3%	102.0%
売上高 計	2,819.3	100.0%	2,498.9	100.0%	112.8%	108.7%

※その他: 臨床検査情報システム、仕入れ商品等

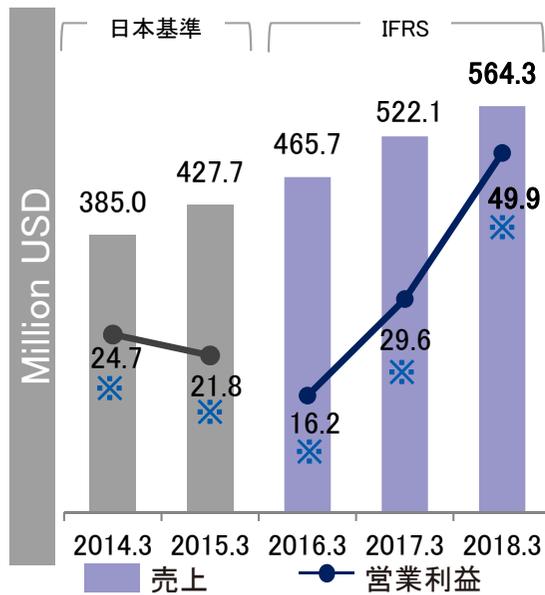
HU事業: ヘマトロジー分野、尿分野  
 ICH事業: 免疫、生化学、凝固分野  
 FCM事業: フローサイトメトリー分野  
 LS事業: ライフサイエンス分野

# 米州における取り組み(所在地別)



	2018年3月期	前年同期	前年同期比	
(億円)			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	625.5	565.8	110.5%	108.1%
営業利益※	55.3	32.0	172.7%	168.8%

- 米国のヘマトロジー試薬やサービス売上の増加、カナダの大手検査センター向け案件獲得により増収
- 増収に伴う粗利益の増加に加え、グループ間取引価格の見直しにより大幅増益



## 現地通貨ベース

- 米国 設置台数増加によりヘマトロジー試薬およびサービス売上が伸長し増収
- カナダ 大手検査センター向けヘマトロジー案件の獲得により増収
- 中南米 代理店向けヘマトロジー機器の売上増加により増収

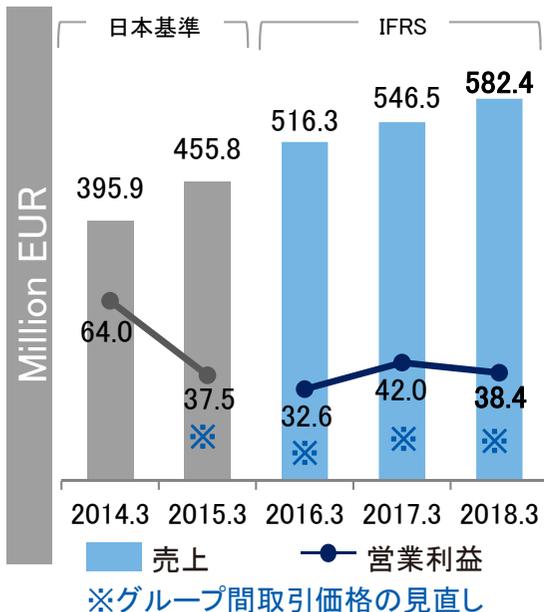
# EMEAにおける取り組み(所在地別)



EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域

(億円)	2018年3月期	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	<b>755.4</b>	649.2	<b>116.4%</b>	106.6%
営業利益※	<b>49.7</b>	49.9	<b>99.6%</b>	91.2%

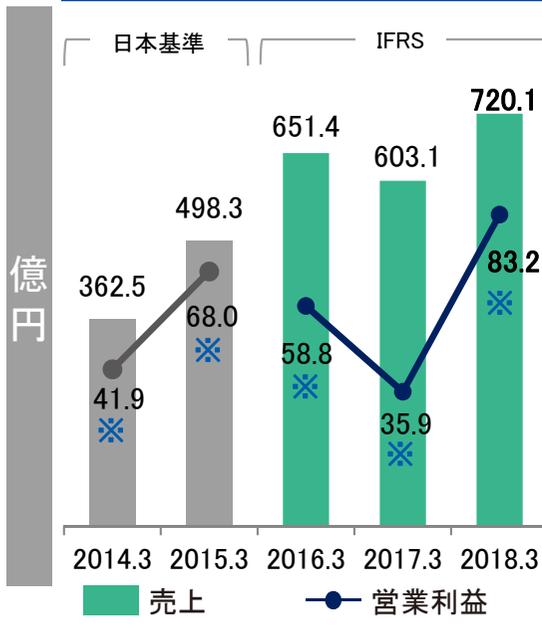
- 設置台数増加によるヘマトロジー試薬の伸長やOGTの子会社化による売上増加が、イギリスの案件遅延や低調な凝固分野の機器売上等の影響を補い増収
- 増収により粗利益が増加するも、子会社 (Partec) の減損損失が影響し減益



## 現地通貨ベース

- 主要5カ国 イギリスの案件遅延の影響が継続するも、フランスでの尿・凝固分野の直販等が寄与し増収
- 東欧・ロシア ロシアでの設置台数増加により試薬売上が伸長し増収
- 中東・アフリカ ブルキナファソにおける政府系入札案件を獲得するも、前年度の大型案件の影響等により減収
- その他欧州 北欧での好調なヘマトロジー機器販売、トルコでの設置台数増加による試薬売上が伸長し増収

# 中国における取り組み(所在地別)



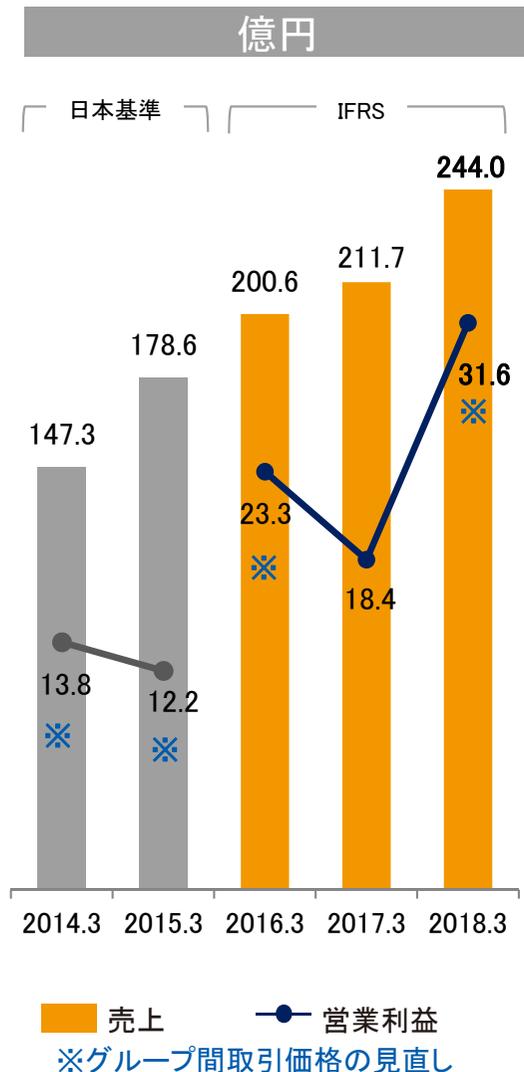
※グループ間取引価格の見直し

	2018年3月期 (億円)	前年同期	前年同期比 (円ベース)	前年同期比 (現地通貨ベース)
売上高	720.1	603.1	119.4%	114.8%
営業利益※	83.2	35.9	231.4%	222.5%

- 設置台数増加による免疫・凝固分野等の試薬売上伸長に加え、直接サービスへの移行に伴う代理店向け試薬値上げもあり増収
- グループ間取引価格の見直しや試薬売上構成比の上昇により大幅増益

- ヘマトロジー分野 設置台数増加による試薬売上の伸長により増収
- 凝固分野 線溶系試薬売上が堅調に推移し増収
- 尿分野 好調な新製品UNシリーズの販売により大幅増収
- 免疫分野 設置台数増加により、感染症項目を中心に試薬売上が順調に推移し大幅増収

# APにおける取り組み(所在地別)



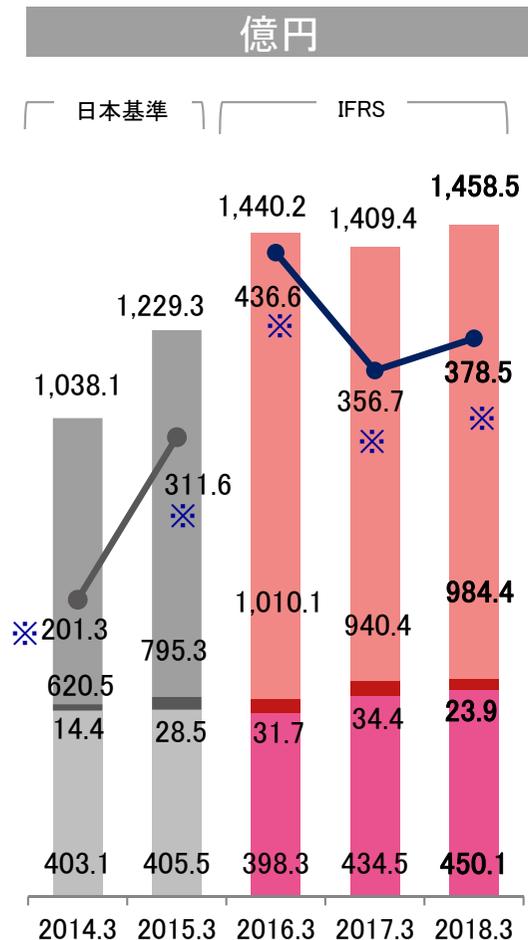
	2018年3月期 (億円)	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	<b>244.0</b>	211.7	<b>115.3%*</b>
営業利益*	<b>31.6</b>	18.4	<b>171.6%</b>

- 南アジアでの案件獲得によるヘマトロジー分野を中心とした売上増加に加え、台湾直販化(2017年5月)が寄与し増収
- 台湾直販化により販管費が増加するも、試薬売上伸長による粗利益の増加、為替の影響等により大幅増益

※ 域内通貨による為替の影響を除外した場合: 売上 111.4%

- **南アジア**      インド、バングラデシュにおける政府系入札案件の獲得、ヘマトロジー試薬売上が大幅伸長し増収
- **韓国・台湾**      台湾の直販化に加え、韓国における尿分野の機器売上が伸長し増収
- **オセアニア**      凝固分野の売上は伸長するも、前年度オーストラリアのヘマトロジー分野等の大型案件の影響により減収

# 日本における取り組み(所在地別)



■ 内部売上高: 関係会社への輸出等  
 ■ 外部売上高: IDEXX社等  
 ■ 外部売上高: 日本  
 ● 営業利益  
 ※グループ間取引価格の見直し

(億円)	2018年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	1,458.5	1,409.4	103.5%
外部	474.1	469.0	101.1%
日本	450.1	434.5	103.6%
IDEXX社等	23.9	34.4	69.7%
内部	984.4	940.4	104.7%
営業利益※	378.5	356.7	106.1%

- IDEXX社向けの売上が減収するも、国内の機器案件獲得や試薬売上が伸長し増収
- グループ間取引価格の見直しの影響があるも、海外関係会社向けの売上増加や販売費等の抑制により増益

- 日本 ヘマトロジー機器の売上伸長や凝固・免疫分野の試薬売上が好調に推移し増収
- IDEXX社等 IDEXX社向けの動物用の機器売上が減収

# 予想配当額 16期連続の増配(案)

- ・2017年3月期に対し、年間で8円の増配
- ・年初計画に対し、創立50周年記念配当6円を増配

	中間	期末	年間	配当性向
2017年3月期	28 円	30円	58円	29.7 %
2018年3月期 (案)	30円	36円 <sup>※</sup> 創立50周年 記念配当(6円)含む	66円	35.1 %

※第51回定時株主総会に付議する予定

## Chapter 2

---

# 2019年3月期 業績予想

# 連結 通期業績予想

## 2019年3月期 連結業績予想

売上高 3,100億円

営業利益 620億円

営業利益率 20.0%

親会社の所有者に帰属する当期利益 425億円

当期利益率 13.7%

### 投資計画

設備投資 240億円  
(有形のみ)

減価償却費 170億円

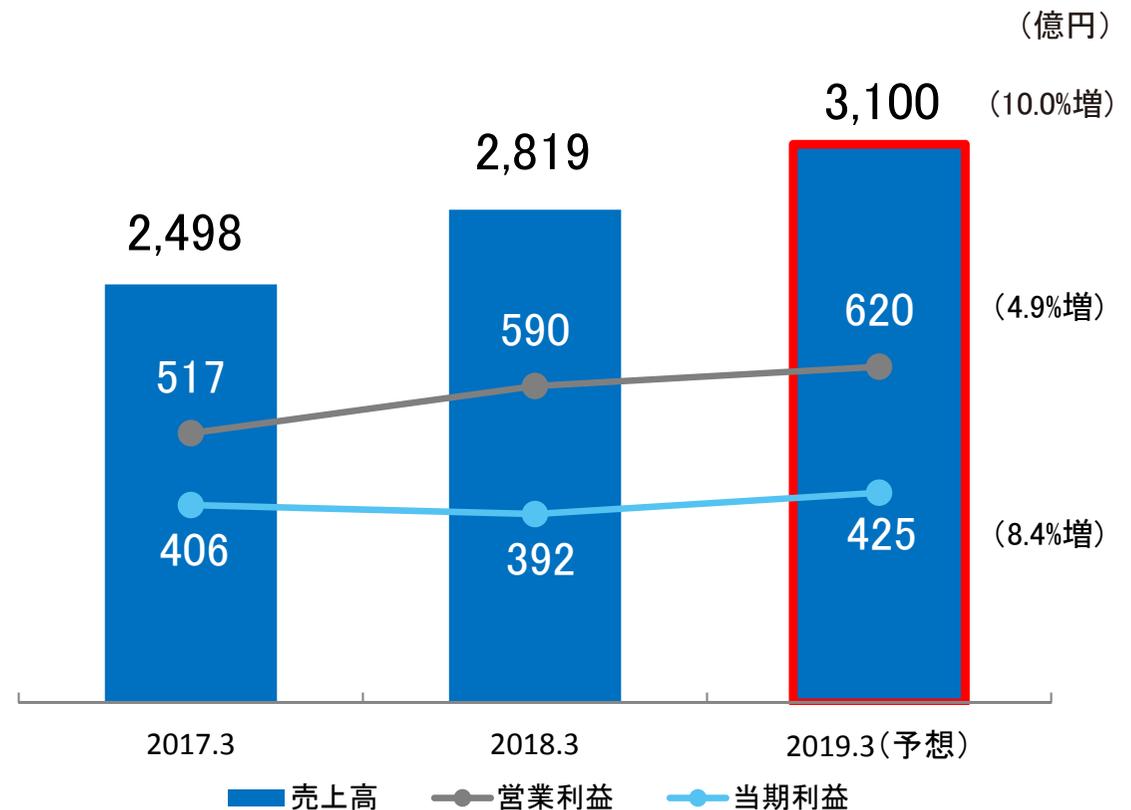
研究開発費 195億円

### ● 想定為替レート

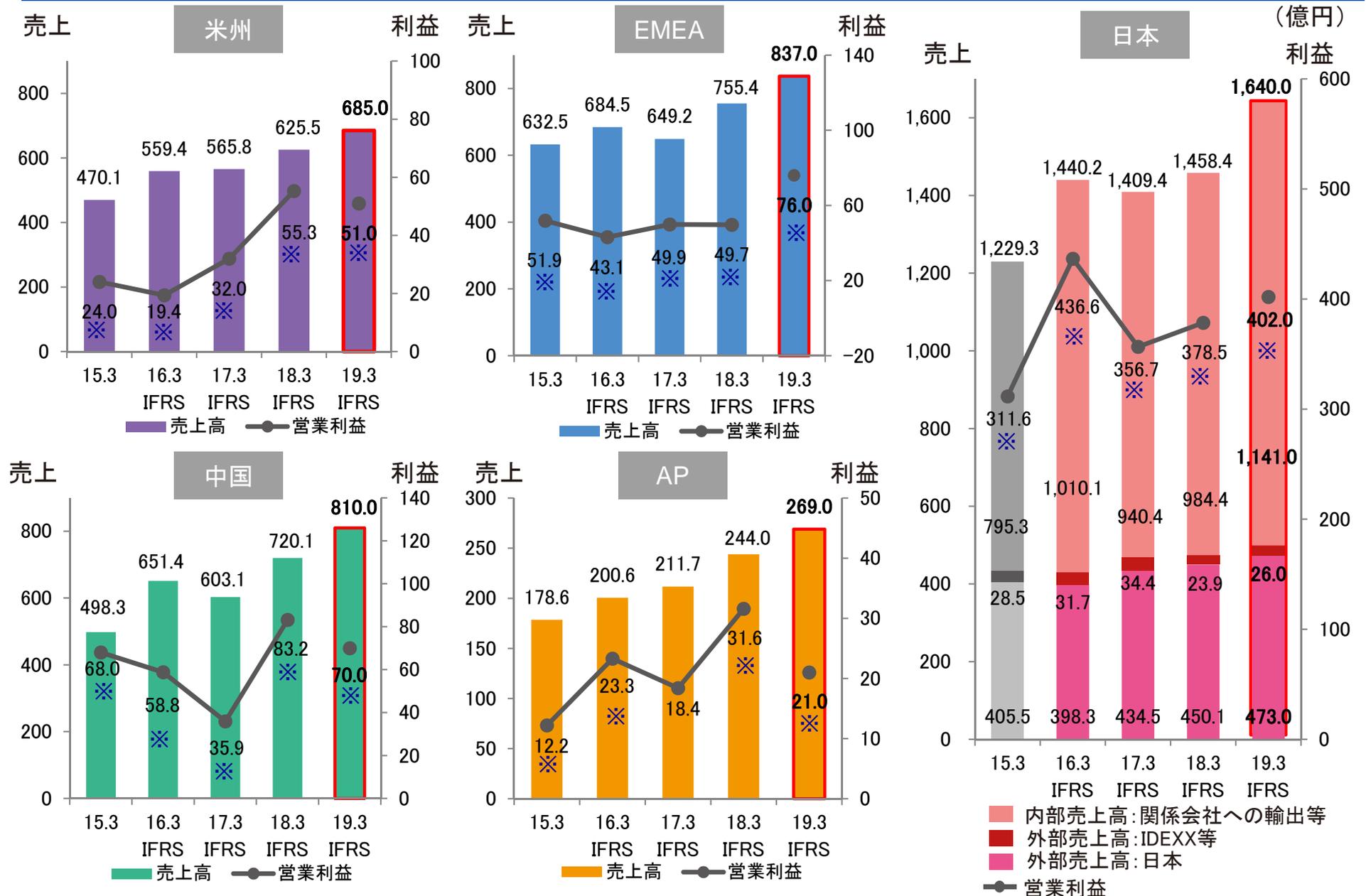
	通期想定	前期実績 (18年3月期)
1 USD	110.0円	110.9円
1 EUR	130.0円	129.7円
1 CNY	16.5円	16.8円

### ● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	6.0億円	6.9億円
EUR	4.5億円	1.4億円
CNY	48.6億円	4.2億円

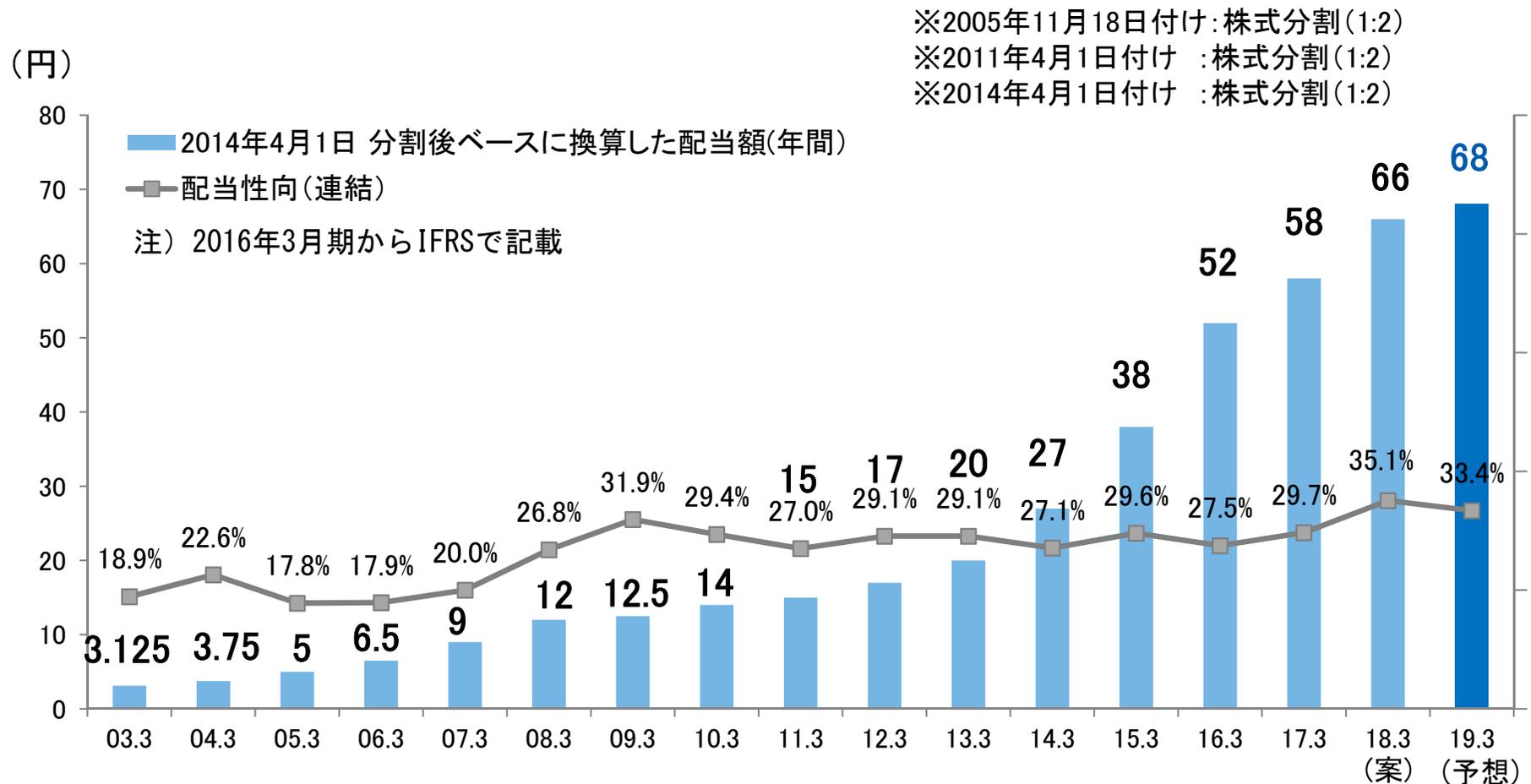


# 所在地別 通期業績予想



# 配当：17期連続の増配（2019.3期予想）

シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

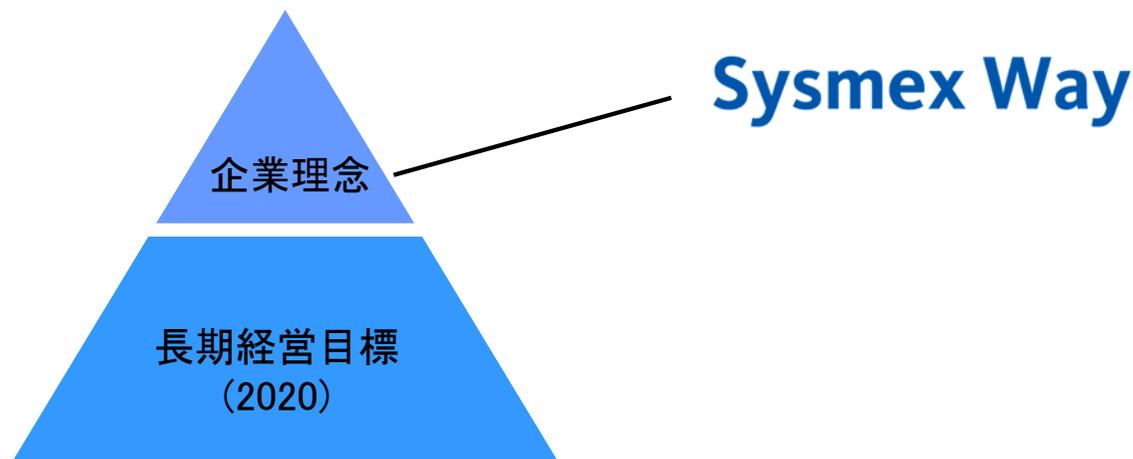


## Chapter 3

---

# 長期経営目標(2025年)

# 長期経営目標2020の振り返り



## Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

## Value

私たちは、独創性あふれる  
新しい価値の創造と、  
人々への安心を追求し続けます。

## Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、  
自らの強みと最高のチームワークを  
発揮します。

## ■ 長期経営目標 - ビジョン -

「特徴のあるグローバルなヘルスケアテストング企業」

(A Unique & Global Healthcare Testing Company)

## ■ ポジショニング

ヘマトロジー、凝固、尿分野におけるグローバルNo.1  
(アライアンス含む)

個別化医療に貢献する先進的なグローバル  
プレイヤー

アジアIVD市場におけるリーディングカンパニー

価値と安心を提供する魅力あふれる会社

免疫分野におけるユニークで存在感あるプレイヤー

スピード豊かな経営を実践する One Sysmex

# ポジショニングの進捗(1)

## ヘマトロジー、凝固、尿分野におけるグローバルNo.1

- ヘマトロジー米国No.1達成、グローバルシェアNo.1ポジションの確立
- 尿分野においてUNシリーズ(尿定性、尿沈渣、撮像の一体運用)をポートフォリオに加え、グローバル展開を推進
- 血液凝固分野はシーメンス社との協業によりグローバルシェアNo.1を堅持

## アジアIVD市場におけるリーディングカンパニー

- 中国において市場拡大の好機を捉え、既存IVD分野において大幅に伸長
- 韓国、台湾、インドなどで直接販売・サービス体制を構築

## 免疫分野におけるユニークで存在感あるプレーヤー

- 当社独自のユニーク項目を中心に、一定の存在感を獲得
- 日本、中国、アジア諸国において事業の基盤を確立

# ポジショニングの進捗(2)

## 個別化医療に貢献する先進的なグローバルプレーヤー

- 技術プラットフォームの拡充 (Inostics, Partec, OGT, 理研ジェネシスなどを子会社化)
- リキッドバイオプシー領域における研究開発の進展 (オープンイノベーションの推進: エクソソーム、アルツハイマー診断等)
- 技術革新のスピードに対応するため、早期の事業化が必要

## 価値と安心を提供する魅力あふれる会社

- 人材育成および交流の拠点「グローバルコミュニケーションセンター」を開設
- ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックスに選定 (2016, 2017)

## スピード豊かな経営を実践するOne Sysmex

- 監査等委員会設置会社への移行、IFRS適用などガバナンス体制を強化
- 今後の成長を支えるグローバルでの多様な人材を獲得
- 創立50周年を迎え、従業員の一体感を醸成する施策を推進

# 2025年へ向けた環境認識

## 技術革新

- がんゲノム医療の本格的な普及
- AIの医療活用が本格化
- ビッグデータ解析の活用
- ロボット、VR技術の活用
- 再生医療技術の発展

## 市場環境の変化

- 高齢化の進展
- 新興国における人口増、経済成長
- 医療費抑制の重要性増加
- 薬事規制の厳格化
- 地政学的リスクの高まり



## 想定される成長機会

- 精密医療、個別化医療の進展
- 高齢化関連疾患対策（認知症など）
- 新興国におけるIVD市場の成長
- 医療の分散化
- 予防・未病領域の拡大

## 想定されるリスク

- 異業種からの参入
- 薬事規制厳格化による認可の遅延
- 地政学的リスクの高まり



## 「特徴のある先進的なヘルスケアテストング企業」 (Unique & Advanced Healthcare Testing Company)

- Unique(特徴のある)
  - 独自の強みと特徴を持つ企業
  - グローバルメジャー企業と異なるユニークな存在であり続ける
- Advanced(先進的な)
  - 常に先進的な取り組みで業界をリードする企業
  - 新たな診断価値、独創的なビジネスモデル、革新的な企業経営
- Healthcare Testing(ヘルスケアテストング)
  - ヘルスケアの進化・進展に貢献する企業
  - 医療の質や効率性・経済性を高める検査・診断技術の提供

# 対象領域と成長機会

## 対象領域

## 成長機会

検査の高度先進化

### 個別化診断領域

ライフサイエンス分野  
(分子診断、再生医療など)



riken genesis

- 医療の精密化・個別化による検査需要の増加
- 技術革新と医療への応用(ゲノム医療など)

### 既存IVD領域

ヘマトロジー、尿検査、  
凝固検査、免疫検査、  
クリニカルFCMなど



- 高齢化の進展による検査需要の拡大
- 先進国における診断・検査の価値向上
- 新興国市場の成長

### プライマリケア領域

プライマリケア(初期診療)  
における検査



- 医療アクセスの向上
- ICTによるデータ集約および活用

検査場所の拡がり

## ● 新たな診断価値を創出するIVDグローバルTop 5

- コア事業の持続的な成長により、グローバルTop5入りを目指す
- グローバルに成長し続ける検体検査市場におけるシェア拡大に加え、新たな診断価値を創出

## ● 治療を最適化する個別化診断のリーディングカンパニー

- 治療方法選択に貢献する新たな検査、診断価値を創出
- 自社測定プラットフォームとオープンイノベーションなどにより獲得した新たな技術、知見を融合

## ● プライマリケアの進展に貢献するソリューションプロバイダー

- 検体検査領域で培った診断技術とITを活用
- 医療アクセスの向上へ貢献するソリューションの提供

## ● 価値と安心を提供する魅力あふれる会社

- 独創的な技術やビジネスモデル、活力ある人材、健全かつ先進的な企業経営により、多様なステークホルダーからの支持を獲得

## ● スピード豊かな経営を実践するOne Sysmex

- 多様な人材が活躍できる魅力ある職場を実現
- 最高のチームワークを発揮し、高効率かつスピード豊かな経営を実践

## Lighting the way **with diagnostics**

シスメックスは、  
革新的なヘルスケアテストングを創出し  
「診断」の価値を高め、  
医療により確かな安心をお届けします。



本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

## シスメックス株式会社

〈お問合せ先〉

シスメックス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

IR・広報部

電話：078-265-0500

メールアドレス：info@sysmex.co.jp

[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)